
Memorise in merody

紅美夜みりん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Memorise in melody

【NZコード】

N3297Q

【作者名】

紅美夜みりん

【あらすじ】

日常系物語。

人の関係を描いていく。

世界は理不尽。

でもそんな世界でも人は生きていく。

不満がある。

それもありふれた世界。

どんな人で生きたい？

それはあなたのすぐ、小さな気づきからの始まりです。

前書き（緒書き）

閲覧ありがとうございます。

ある日の昼下がり。

一ノ瀬美依はやる気に満ちていた。

何の特別な日でもないのだが、本人にとつては特別な日だった。ある建物の前。美依は建物のドアの前で緊張していた。かなり緊張していた。

(うう、挫けそう~)

緊張がもたらす尿意もさつき気づいた。

(やっぱり行つてから来れば良かつた)

そう思いながらもドアをこんこんつ、とノックした。

(ここは我慢だ、私！ なんせ生活もかかってるんだからー…)

家の近くにある喫茶店。

美依はそこにバイトとして来ていた。

(今日の面接に受かつたら晴れてパーは卒業！ フリーターにジョブチャンジ！)

「はい、どうぞ」

柔らかな声が中から聞こえた。どうやら女人みたいだ。
美依は店の裏口から店へと入つていった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3297q/>

Memorise in melody

2011年1月26日00時48分発行